

特定非営利活動法人トムトム

令和2年度

事業報告(案)

法人全体

1、基本理念

ハンディのある方とそのご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、運営方針

- (1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実を目指す。
- (2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる。
- (3) 地域の関係団体や施設等と連携を図り、地域福祉のネットワークづくりを目指す。
- (4) 職員の資質向上を目的として、研修や人事管理制度の整備を目指す。
- (5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備を図る。
- (6) 適切な財務管理と会計処理システムに努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す。

3、重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
 - ① 本人を尊重した個別支援計画の作成
 - ② 本人を主体とした実践の振り返り
- (2) 安定した運営の実現
 - ① 法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - ② 新人事制度導入に伴うキャリアアップ制度の運用
 - ③ 人材育成のための職員研修の実施
- (3) 事業展開と今後の見通し
 - ① 就労支援事業の新規作業に伴う他法人との連携と、体制の強化
 - ② 成人向けの事業の検討
 - ③ 指定共同生活援助に関する事業の検討

4、会議行事等(総会・理事会等)

| 会議名 | 種別 | 開催日 | 内容 |
|-----|-----|--|---|
| 監査 | 定時 | 令和2年5月22日 | 平成31年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査 |
| 理事会 | 第1回 | 令和2年4月27日 コロナウイルス感染拡大防止の為理事会は開催せず書面表決 | ①令和2年度事業計画 ②令和2年度予算 |
| 理事会 | 第2回 | 令和2年5月30日 コロナウイルス感染拡大防止の為理事会は開催せず書面表決 | ①平成31年度事業報告 ②平成31年度決算報告及び監事監査報告 |
| 総会 | 定時 | 令和2年6月15日 コロナウイルス感染拡大防止の為理事会は開催せず書面表決 | ①平成31年度事業報告 ②平成31年度決算報告及び監事監査報告 ③役員選任 ④令和2年度事業計画 ⑤令和2年度予算 |
| 理事会 | 第3回 | 令和2年6月17日 コロナウイルス感染拡大防止の為理事会は開催せず書面表決 | ①理事長選任 |

5、会員

正会員37名、賛助会員44件

6、事業運営

| 事業所名 | | 所在地 | 事業種別 | 事業(サービス)名 | サービス提供地域 |
|---------|------------------|-----|----------|---------------------|-------------|
| 本部 | | 西真土 | | 法人本部業務,総務(経理・労務・庶務) | |
| トムトム相談室 | | 南原 | | 計画相談支援,障害児相談支援 | 茅ヶ崎市 平塚市 |
| 茅ヶ崎支部 | あいあいクラブ | 萩園 | 障害福祉サービス | 多機能型 放課後等デイサービス | 茅ヶ崎市 寒川町 |
| | からんころん | | | 多機能型 生活介護 | |
| | ゴロゴロクラブ | 赤羽根 | | 茅ヶ崎市日中一時支援 | |
| | とむ郎 | 香川 | | 共同生活援助 | |
| | モンキーポッド | 萩園 | | 茅ヶ崎市日中一時支援 | |
| 平塚支部 | えぽっくハウス | 南原 | 障害福祉サービス | 多機能型 生活介護 | 平塚市 |
| | 黄色の家 | 中原 | | | |
| | アンヌ | 城所 | | 多機能型 就労移行支援 | |
| | キャロット工房 | 寒川 | | | |
| | 青果ことぶき | 西真土 | | 就労継続支援B型 | |
| | グリーン工房1階 | | | 平塚市日中一時支援 | |
| | えぽハウ | 御殿 | | 放課後等デイサービス | |
| | ゆうゆうクラブ | 南原 | | 居宅介護,重度訪問介護,移動支援 | |
| ぶんぶん | 自由契約 個別支援(パーソナル) | | | | |

7、施設管理業務

(1) 建物の状況

| No | 所在地 | 床面積 | 事業所 |
|----|--------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 | 平塚市南原2-4-5 マイズビル1階 | 206.25 m ² | ぶんぶん, えぼっくハウス・トムトム相談室 |
| 2 | 平塚市南原2-4-5 マイズビル403号室 | 41.25 m ² | |
| 3 | 茅ヶ崎市赤羽根2165-2 | 120.89 m ² | ゴロゴロクラブ |
| 4 | 茅ヶ崎市香川4-21-12 | 148.65 m ² | ケアホームとむ郎 |
| 5 | 平塚市中原2-6-63 | 101.84 m ² | 黄色の家 |
| 6 | 平塚市西真土1-7-62 | 126.37 m ² | キャロット工房 |
| 7 | 平塚市西真土1-7-56 | 130.00 m ² | グリーン工房 |
| 8 | 平塚市城所1382 | 162.47 m ² | アンヌ |
| 9 | 高座郡寒川町一之宮1-9-15 | 49.50 m ² | いずみビル201号室 |
| 10 | 平塚市御殿1-7-6 | 118.38 m ² | ゆうゆうクラブ |
| 11 | 茅ヶ崎市萩園2336-2 | 198.78 m ² | あいあいクラブ, からんころん |
| 12 | 平塚市御殿1-33-21 | 59.52 m ² | えぼハウ |
| 13 | 茅ヶ崎市萩園1602 | 53.60 m ² | モンキーポッド |
| 14 | 高座郡寒川町一之宮1-9-15 | 128.00 m ² | 青果ことぶき |

(2) 駐車場の状況

| No | 所在地 | 台数 | No | 所在地 | 台数 |
|----|-----------------|------|----|----------------|------|
| 1 | 茅ヶ崎市萩園2336-1 | 14 台 | 11 | 平塚市南原2-8-14 | 5 台 |
| 2 | 茅ヶ崎市松林3-821 | 4 台 | 12 | 平塚市南原2-2-13 | 3 台 |
| 3 | 茅ヶ崎市香川4-400-1 | 3 台 | 13 | 平塚市南原2-4-7 | 5 台 |
| 4 | 平塚市御殿1-7-17 | 4 台 | 14 | 平塚市南原2-4-9 | 3 台 |
| 5 | 平塚市御殿1-23-3 | 2 台 | 15 | 平塚市西真土1-1512-1 | 5 台 |
| 6 | 平塚市御殿1-1111-4 | 2 台 | 16 | 平塚市西真土1-1521-1 | 4 台 |
| 7 | 平塚市御殿1-112-3 | 8 台 | 17 | 平塚市西真土1-1512-3 | 1 台 |
| 8 | 平塚市南原2-187-1 | 1 台 | | | |
| 9 | 高座郡寒川町一之宮1-9-15 | 1 台 | | | |
| 10 | 平塚市南原2-3-11 | 1 台 | | | |
| 合計 | | | | | 66 台 |

(3) 法人所有車両

| 事業所 | 車両 | 事業所 | 車両 |
|---------|-----|---------|------|
| 本部 | 1 台 | キャロット工房 | 4 台 |
| あいあいクラブ | 3 台 | ゆうゆうクラブ | 3 台 |
| ゴロゴロクラブ | 3 台 | からんころん | 3 台 |
| とむ郎 | 1 台 | トムトム相談室 | 1 台 |
| えぼっくハウス | 9 台 | | |
| 合計 | | | 28 台 |

(4) 什器備品・リース

| No | 什器備品 | 数量 |
|----|---------|----|
| 1 | SAORI織機 | 3 |
| 2 | リヤカー | 1 |

| No | リース | 数量 |
|----|-----------------|----|
| 1 | はちろう君(成型機) | 1 |
| 2 | まぜろう君(攪拌機) | 1 |
| 3 | オフィス電話 | 14 |
| 4 | 複合機 | 6 |
| 5 | プリンター | 1 |
| 6 | ことぶきレジスター | 2 |
| 7 | サーバー | 2 |
| 8 | パソコン | 24 |
| 9 | 給与・人事奉行(ソフトウェア) | 1 |
| 10 | おりこうブログ(ソフトウェア) | 1 |
| 11 | 正木設計(ソフトウェア) | 1 |
| 12 | ヴォクシー(車両) | 1 |

(5) 主なITソフト

| No | 種類 | ソフト名 |
|----|------------|------------------------------|
| 1 | 給与 | OBC 給与奉行 給与ソフト |
| 2 | 会計 | TKC 会計ソフト |
| 3 | 介護請求 | 真 障害者自立支援法対応 介護派遣コーディネートシステム |
| 4 | 介護請求 | 障害者自立支援法請求システム |
| 5 | 介護請求 | マウントシステム |
| 6 | グループウェア(*) | サイボウズ |
| 7 | 人事 | OBC 人事奉行 人事管理ソフト |

*組織内の情報共有のためのシステムソフト

8、職員体制

令和3年3月末時点

| | 部長 | 課長 | 主任 | リーダー | 一般職 | 看護師 | 合計 |
|-------|----|----|----|------|-----|-----|-----|
| 常勤 | 2 | 5 | 4 | 3 | 14 | | 28 |
| 嘱託 | | | | 1 | 5 | | 6 |
| 非常勤 | | | | | 75 | 2 | 77 |
| アルバイト | | | | | 2 | | 2 |
| 合計 | 2 | 5 | 4 | 4 | 96 | 2 | 113 |

※組織図別紙1参照

9、職員研修

| 研修名 | 開催日 | 出席者 | 場所 | 内容 |
|--------|--------|----------------|---------|---|
| 常勤職員研修 | 9月16日 | 常勤・嘱託職員 30名 | えぼつくハウス | 「利用者・職員が新型コロナに感染したら・・・？ 対応をシミュレーションしておこう」 講師：社会保険労務士 山本奈央氏 |
| 常勤職員研修 | 10月21日 | 常勤・嘱託職員 29名 | えぼつくハウス | 相談支援の実情からみる課題などについて 講師：本間太郎(職員) |
| 常勤職員研修 | 12月9日 | 常勤・嘱託職員 30名 | えぼつくハウス | 「コロナ禍における子どもの健康」日々の過ごし方のコツ～安心感を得るには～ 講師：横須賀市療育相談センター広瀬宏之氏 |

10、内部会議の開催

| 会議名 | 主催 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 幹部会議 | 理事長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 4 | 2 | 1 | 0 | 2 | 3 |
| 常勤全体会議 | 理事長 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 会計会議 | 理事長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 労務会議 | 理事長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| Logical会議 | 理事長 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| IT委員会 | 委員長 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 安全委員会 | 委員長 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 衛生委員会 | 委員長 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 広報委員会 | 委員長 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 研修・人権擁護委員会 | 委員長 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |

11、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と一部の非常勤職員が対象)
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→コロナウイルス感染拡大防止の為に中止

12、役員数

理事5名、監事2名

13、苦情処理

なし

14、総括

(1) 新型コロナウイルス感染防止に関する対応について

昨年、2月頃から新型コロナウイルスが東京都を中心に急速に蔓延。

近隣の県立養護学校は全て休校となる。神奈川県は、県内の全福祉事業者に向けて感染予防対策徹底の注意喚起をした上で、事業継続の要請を受ける。これにより、養護学校に通学できなくなった児童に対して緊急的に午前中からの受け入れを行った。

児童、成人の利用者とそのご家族に向けて感染防止の観点から、利用前の毎朝の検温、体調管理のお願いや、咳や発熱等で体調不良の場合は自宅療養の要請文書を2月26日付で通知。

職員に向けては、顧問社会保険労務士と相談し、「新型コロナウイルス感染拡大に関する法人の方針」1. 利用者ご家族への対応 2. 人の集まる会議等の回避 3. 出勤に関する注意事項 4. 休業(仕事を休むこと)についての取り扱いを3月16日付で到達。

4月7日、国が1回目の緊急事態宣言が発令。神奈川県内全域でも外出自粛が求められ、保育園や全ての学校が休校となった。神奈川県からは福祉事業者に対し、一定の条件の上で事業継続の要請があり、事業所ごとに一時的な開所日の変更や開所時間の縮小をしながら事業を継続することとし、それぞれの事業所から利用者のご家族に向けて文書を通知。

感染リスクが非常に高い支援現場で勤務を続ける職員に対し、5月25日に法人から慰労金特別手当を支給した。

令和3年1月7日、1都3県に2回目の緊急事態宣言が発令。3月21日に解除されたがこの間、前回の混乱した状況とは違い、学校の休校はなく、開所時間の短縮制限はつけず、通常通りの運営を行った。

国からの助成金として福祉従事者に慰労金が支給され、感染予防対策として事業毎に、衛生消耗品等の補助金が支給された。

年間を通し、新型コロナウイルス感染症の問題で事業を縮小せざるを得ない期間が発生したことにより、予算よりも収入が見込まれず、厳しい年となった。

(2) 安心できるより良いサービス提供の実現

- ・今年度前半は、コロナ騒動で職員同士の情報共有としての会議を行う頻度が少なかったが、その分、夏以降は、時間を短くする等の工夫をしながら会議を行い、事故報告、ひやり・はつとの共有化を図り、支援事故防止に努めた。
- ・定期的に支援計画を作り、目標設定とその実現に向けて取り組んだ。

(3) 安定した運営の実現

健全な経営を行うため下記の点に重点を置き取り組んだ。

- ・会計事務所との連携による確実な財務管理の執行。
- ・月次決算報告会を実施し、情報の共有化・連携を図った。

IT委員会

1、目的

法人規模が拡大したことにより、法人の管理体制の見直しが急務となっている。
IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの強化を目指す。
ITシステムを上手に活用して、請求システム、ファイル保管、ファイル管理の保守強化等、業務効率化を目指す。

2、重点課題

- ① 情報共有や業務効率化に向けて、現在使用しているサイボウズやドキュワークストレイなどのツールをより多くの職員が活用出来るような運用方法、周知方法を検討する。
- ② kintoneを活用し、月報や事故報告書、ひやりはっと等の法人内文書のデータ作成、管理、集計を効率的に行えるよう改善する。

3、総括

今年度はコロナウイルス感染拡大の影響で定期的な委員会活動を行うことがほとんど出来ず、出退勤管理のIT化に関する検討や個々のパソコンのトラブル対応などが中心となった。次年度は出退勤管理に関する課題やパソコン環境の調査などに引き続き取り組んでいく。

安全委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 前年度にAEDを平塚・茅ヶ崎に各1台を導入。今後各事業所にも順次導入を検討している。それに伴い、職員を対象に救命救急講習を行い、AEDの基礎的な操作方法を学ぶ。
- ② 近年の状況から、地震による災害だけでなく、台風・津波等による風水害の発生も想定した備えが必要になってきているため、万一来た「初動マニュアル」を作成し、防災対応力の向上を図る。
- ③ 災害時緊急メールシステムの運用について、災害時に限定しない多様な活用方法を検討する。

3、総括

- ① コロナ禍の為、講師を招いての救命救急講習の開催ができなかった。今後は市主催の講習会に参加し、基本的操作を学び各事業所に情報提供し、AEDを設置していく。
- ② 各事業所にて火災と地震を想定した訓練を実施した。今後は訓練の報告書をまとめ、訓練方法、反省点等を共有し、基本のマニュアルの作成と共に、各事業所毎に適切な訓練内容を検討、マニュアル化していく。
- ③ 年1回法人全体で緊急メールシステム(さくら連絡網)のテスト配信を実施したが、事業所側、利用者側共に戸惑う場面が見られる為、今後は各事業所毎にテストメールを定期的の実施し、緊急時にスムーズ活用できるように備えていく。

安全委員会(車両)

1、目的

法人所有車両の増加に伴い、事業所毎に管理担当者を選任するとともに、安全に運行、運転を行うための研修・情報共有・啓発活動を行い、車両事故ゼロを目指す。

2、重点課題

- ① 各事業所の車両担当者による毎月1回の車両点検の徹底を継続し、整備不良等による事故を未然に防ぐ。
- ② 運転の技術や知識に関する研修を積極的に行い、引き続き安全運転についての意識を高めていく。
- ③ 車両点検簿の活用により、車検、オイル交換等の定期点検を期限内に確実に実施する。
- ④ 3ヵ月毎に各事業所に安全運転の啓発のためのスローガン入りポスターを配布する。

3、総括

- ① 車両点検表が未提出の事業所があり、まだ法人全体に浸透しきれていない。今後も有効に活用して、車両の管理体制を強化していきたい。
- ② コロナ禍の為、研修の実施には至らなかった。今後は感染予防に配慮した上での研修実施なども検討していく。
- ③ 令和2年3月度に、車検切れのままで9日間も走行するという重大事故が発生した。同じ事故が二度と起こらぬよう、具体的な対応策を実施していく。
- ④ 各事業所にポスターの配布を行った。今後も継続して啓発活動を行っていきたい。

衛生委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 感染症流行時期の前に各事業所へポスターによる啓発運動を行う。
- ② 現在の多種にわたる感染症については、正確な情報の収集、流行時の対応方法等の職員・利用者・関係機関への伝達を遅滞なく行う。感染症拡大予防関連備品の備蓄をすすめていく。
- ③ ストレスチェック実施の後のメンタルケアフォローを行う。
- ④ 各事業所の安全衛生パトロール実施後の整備に力を入れる。

3、総括

- ① 新型コロナウイルス蔓延防止の為、会議中止等で計画的な委員会活動が難しかった。そのような中でも新型コロナウイルス・インフルエンザ感染防止の啓発ポスターの各事業所配布や全職員対象のストレスチェック、介護ロボットのデモンストレーションなどを実施した。
- ② 新型コロナウイルス感染予防の為、衛生備品の備蓄については、本部職員にも協力してもらいながら引き続き努めていく。

広報委員会

1、目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用し、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

2、重点課題

- ① 各事業所の活動の様子や法人の取り組みがより読み手に伝わるような写真選びや文章作成を意識する。
- ② 内容がマンネリ化しないよう新しい掲載内容についても検討する。
- ③ 校正作業がメンバーの一部に偏らないよう平等に分担し、発行までのスケジュールをメンバー全員が意識するよう周知していく。
- ④ ホームページの行事報告などについてどのように更新していくか検討する。

3、総括

- ① コロナウイルスの影響で委員会が開催できず、メンバーと連携がとりづらく予定より作業が遅れてしまうこともあった。トトム通信52号が7月の発行予定であったが8月の発行となった。
- ② コロナウイルスの影響で、各事業所で季節の行事やお出掛けを自粛していたり、常勤会議や研修等も中止になり掲載内容に悩んだ。

研修・人権擁護委員会

1、目的

(1) 研修

法人内外の研修を通じて職員を育成し、仕事に対する意欲を引き出し、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていくためのサポートを行う。

(2) 人権擁護

障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境を知り、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みについて考え、障がいのある人がその人らしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

2、重点課題

- ① 法人職員一人ひとりが、人権擁護への高い意識を保つよう、人権擁護に関する研修を繰り返し計画したい。
- ② 日々の現場へのフィードバックできる、支援スキル、支援への心構え取得を目的とした研修を計画したい。
- ③ 法人職員としての自覚を持つことはもちろんのこと、一人の国民としての法令遵守、社会規範を身につける、最低基準の意識を確認する研修内容を計画したい。
- ④ 座学での研修ばかりでなく、職員同士のコミュニケーションを図る内容の企画を考えていきたい。

3、総括

新型コロナウイルス感染が心配される中であったので、集団密となることを踏まえ、開催に至らなかった。次年度では、オンライン会議ができるような形式も法人予算を検討しながら考えていきたい。また、学びたい内容を紙面配布の形式で行うことも検討したい。

新しい様式での研修形態を取り入れるべく具体的に考察する時期に来たのかもしれない。

本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

1、目的

法人全体の運営業務が円滑に進むように環境整備する。

2、業務内容

- 労務業務 人事、給与他
- 管理業務 法人設備、修繕、契約書の管理、固定資産管理他
- 庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続き他
- 経理業務 会計処理、請求書の支払い業務、納税、補助金の申請他
- 管財業務 車両管理、リース管理、保険管理他
- 請求業務 未収金請求、障害福祉関係の請求他
- 本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請他

3、職員体制

常勤職員4名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員1名)

非常勤職員3名

4、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|------|------|---------------------|
| 総務会議 | 毎月1回 | 日程などの情報確認、部内検討事項の審議 |

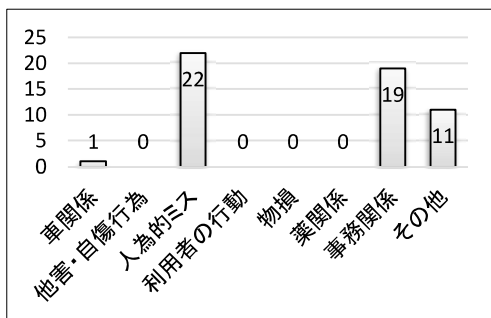
(2) 外部研修・説明会

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|-----------|-------|--|
| オンラインセミナー | 6月18日 | テレワークコミュニケーションを効果的に支援する「Microsoft Teams」の活用術 |
| | 7月8日 | 年末調整対策セミナー |

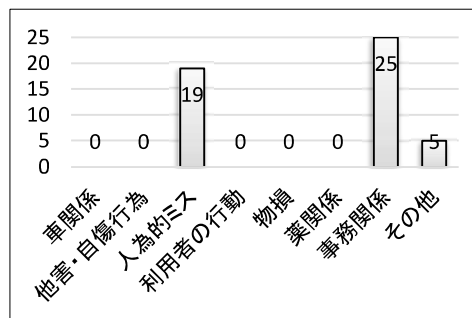
5、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはつと 53 件



(3) 事故報告 49 件



6、重点課題と目標

(1) 事故報告とひやりはっと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはっと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

(2) 労務の情報管理業務の精度向上

人事管理ソフトの導入により、職員の労務情報をより具体的で細やかに管理することが可能となったことで、業務の正確性と処理スピードの向上を図る。

(3) 安定した運営の実現

①顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るため、雇用関係助成金を積極的に活用していく。

②専門的なコンサルタントの助言と指導を受けながら、改定後の賃金制度の適正な運用と人事評価制度の精度向上を目指す。

③顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。

④事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。

⑤給与ソフトとの連動が可能な就業管理ソフトを導入し、多様化している職員の勤務形態に対応できる労務管理体制づくりを目指す。

(4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者と連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

(5) リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6) 経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7) その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

7、総括

新型コロナウイルス感染症の拡大によるさまざまな影響があった一年だった。上期の緊急事態宣言下に本部で実施したテレワークでは、在宅における意思疎通の難しさや事務処理の非効率化を招く等、初めて経験する事態に戸惑う日々であった。その後のコロナウイルスに関連する各種の補助金・助成金の受給申請の手続きは、国・県・市町村から次々と通達が届いては書類を揃えて申請を行う、という事務が期末まで続いた。これに相当の時間を取られたため、下期の二度目の緊急事態宣言下ではテレワークが出来るような状況ではなかった。

事務職員の欠員は下期になって補充することができたので、コロナ禍とも相まって全員にかかっていた負荷は少しだけ軽減された。ただ制度請求事務に関してもコロナ禍の影響は大きく、通常時に比べると格段に処理は煩雑になって事務量も相当に増えており、期中に処理が終了せずに次期に繰り越している部分もある。事務員の補充ができたとは言え、このコロナ禍が収束するまでは、辛抱して気を抜くことなく緊張感を持って業務にあたっていきたい。

茅ヶ崎支部

1、内部会議・研修

| 会議・研修名 | 開催日 | 目的・内容 |
|-----------|------------------------|--------------------|
| 茅ヶ崎支部常勤会議 | 5月13日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 7月7日 9月9日 11月12日 | 各事業所の報告及び課題検討 |
| | 1月13日 3月3日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |

2、外部会議・研修

| 会議・研修名 | 開催日 | 目的・内容 |
|-----------------|--------|--------------------------------|
| 全国放課後連理事会・総会 | 6月7日 | 新型コロナ対応状況における事業所アンケート結果の確認/総会等 |
| 放課後ネットかながわ事務局会議 | 10月22日 | 情報共有、意見交換等 |

平塚支部

1、内部会議・研修

なし

2、外部会議・研修

| 会議・研修名 | 開催日 | 目的・内容 |
|-----------------|--------|------------------------------------|
| 全国放課後連理事会・総会 | 6月7日 | 新型コロナウイルス対応状況における事業所アンケート結果の確認/総会等 |
| 放課後ネットかながわ事務局会議 | 10月22日 | 情報共有、意見交換等 |

ゴロゴロクラブ(茅ヶ崎市赤羽根2165-2)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日

(5)サービス提供時間…9:30～18:30

(6)定員…20名

4、事業収入

| | 年間 |
|-------------------|--------|
| 開所日数 | 268 |
| 件数 | 2,114 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 17,447 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者34名(男性18名、女性16名)

(2)年齢構成

13～29歳、平均年齢22歳(男性21歳、女性22歳)

(3)手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|
| 療育手帳(神奈川県) | 15 | 12 | 1 | 1 | 29 | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 |
| 身体障害者手帳 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 9 |

6、職員体制

嘱託職員1名、非常勤職員9名

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------|--|---------------------------|
| 個別支援検討会議 | 4月14日 5月12日 6月9日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 7月14日 9月8日 10月13日 11月10日 12月8日 | 日々の業務、利用者対応及び支援の情報共有と検討など |
| | 1月14日 2月9日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 3月9日 | 日々の業務、利用者対応及び支援の情報共有と検討など |
| | | |

(2) 外部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|---------------|------|-------------------|
| 茅ヶ崎養護学校事業所説明会 | 9月4日 | 養護学校送迎時間や送迎対応について |

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|------------------|--------|-----------------|
| 介護ロボットデモンストレーション | 10月22日 | 「マッスルスーツ」の説明と試着 |

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|-------|----------------|-----------|
| 利用者面談 | 6月23日 3月25日 | 家庭との情報共有等 |

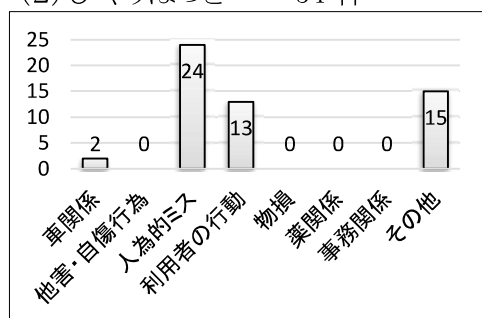
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|----------------|---------------|------------------------------|
| 火災通報避難訓練 | 10月19日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報訓練) |
| クリスマスプレゼントとおやつ | 12月12～ 25日 | クリスマス飾り創作とプレゼント・おやつ提供 |
| 節分豆まき | 2月2日 | 節分の豆まき |
| 地震避難訓練 | 2月24日 | 地震を想定した避難訓練 |
| 卒業生を送る会 | 3月22日 | 色紙贈呈など |

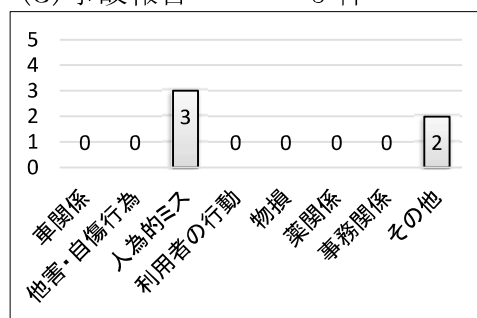
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 54 件



(3) 事故報告 5 件



10、重点課題

- ① 在校生利用者の減少により、児童と成人の比率が変化してきている。開所時間等の検討もしながら、利用者のニーズに応じていく必要がある。
- ② 収益の減少傾向と並行して職員不足も深刻化しており、体制に大きく影響している。特に土曜日の利用希望に対し、職員配置が難しい。
- ③ 職員のスキル向上が課題の一つだが、全体的に職員の高齢化がすすんでおり難しい状況である。

11、目標

- ① 一日8名以上の利用受け入れを目指す。
- ② 事業所連絡会等、適宜他事業所や他施設との連携を強化していき、行政にも現状改善を働きかける。
- ③ ご家庭との情報共有を基に、ご本人ご家族と地域支援のネットワーク作りを目指す。
- ④ 児童、成人共に現状のニーズ把握に努め、支援力の安定、充実を図る。

12、総括

職員配置が一年を通して不安定ではあったが、経験年数の多い非常勤職員の貢献が大きく、またご家庭との情報共有を活かしこれまでの支援を継続できた事は成果として最初に挙げられる。

年々、児童利用者数が減少し成人利用者の割合が増えつつある。新型コロナウイルス感染防止の関連で年度始めは実績も少なくなったが、次第に社会状況と共に復活し、目標である1日8件はほぼ達成できた。

連絡会等も同様の事由にて活動が止まり、事業報酬改善等に関する行政への具体的な要望書も発信できなかった。

支援に関しては情報共有と意見交換の場である個別支援検討会議が数回中止になってしまった事と職員のモチベーションやスキル向上の研修機会も殆どなかったもので、日々の支援の振り返りや意見の聞き取りをして補った。

あいあいクラブ(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に小学生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…(日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～16:30

(6)定員…10名

4、事業収入

| | 年間 |
|-------------------|--------|
| 開所日数 | 275 |
| 件数 | 2,676 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 29,111 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者27名(男性17名、女性10名)

(2)年齢構成

| 年齢 学年 | 7歳 小1 | 8歳 小2 | 9歳 小3 | 10歳 小4 | 11歳 小5 | 12歳 小6 | 計 |
|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|----|
| 男性 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 4 | 10 |
| 女性 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 計 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 5 | 13 |

| 年齢 学年 | 13歳 中1 | 14歳 中2 | 15歳 中3 | 16歳 高1 | 17歳 高2 | 18歳 高3 | 計 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| 男性 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 7 |
| 女性 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 0 | 7 |
| 計 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 1 | 14 |

(3)手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|
| 療育手帳(神奈川県) | 17 | 8 | 1 | 0 | 26 | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 1 | 1 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 |
| 身体障害者手帳 | 2 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 7 |

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、児童指導員2名)

嘱託職員1名

(児童発達支援管理責任者(他兼務))

非常勤職員7名

(保育士1名、児童指導員5名(他兼務含)、ドライバー2名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|--------------|--|-------------------------------|
| 定例会議 | 4月10日 5月15日 6月12日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 7月10日 9月11日 10月16日 11月13日 12月11日 | 業務連絡 情報共有 業務内容の確認 |
| | 1月15日 2月12日 3月5日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 7月13～ 15,17,21,22 ,27,28日 | 利用者の情報共有 個別支援計画 支援内容の検討 |
| | 9月 7,8,9,10,15 ,17,29日 | |
| | 1月 26,27,29日 | |
| | 2月 1,2,4,5,8,9, 10,15,16,17 ,24,25日 | |
| 3月 2,3,5日 | | |

(2) 外部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------------------------|----------------|--------------------|
| 茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議 | 4月23日 5月28日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| 茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会(運営会議) | 7月27日 | 今年度の予定について |
| 茅ヶ崎養護学校事業所説明会 | 9月4日 | 養護学校送迎時間や送迎対応について |
| 茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会(運営会議) | 10月15日 | 情報交換 |

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------------|--------|----------------------|
| 個別ケース会議 | 10月22日 | 養護学校にて利用者のケース会議 |
| 利用者のケースカンファレンス | 1月21日 | 弘済学園にて利用者のケースカンファレンス |

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|--------|--------|---------------------|
| 安全運転講習 | 10月14日 | 三共自動車学校内にて適性検査と場内運転 |

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|-------|-------|-------------------------|
| 緊急面談 | 6月23日 | 児童相談所からの連絡を受けて利用者の緊急面談 |
| 利用者面談 | 9月29日 | 家庭・学校・放課後における利用者の様子について |

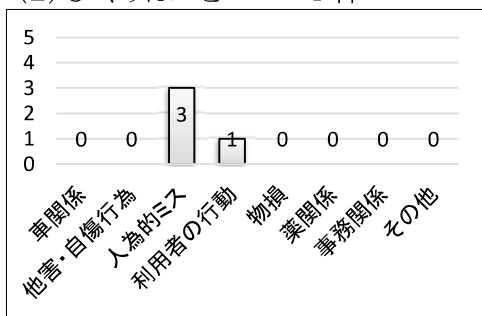
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|----------|---------------|------------------------------|
| 火災通報避難訓練 | 10月22日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報訓練) |
| クリスマス会 | 12月24～ 26日 | クリスマス会の開催 |
| 節分 | 2月2日 | 鬼退治を行う |
| 地震避難訓練 | 2月27日 | 地震を想定した避難訓練 |

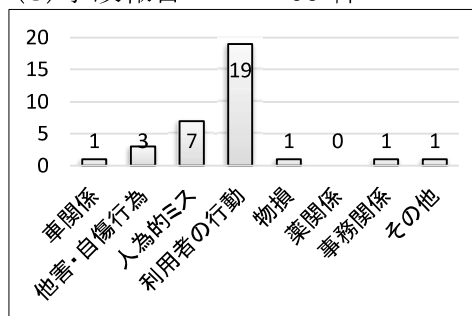
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 4 件



(3) 事故報告 33 件



10、重点課題

- ① 職員の加齢による体力の衰えが、支援力低下として表れてきた。それにより、他職員の負担が増えていること。
- ② 利用者の年齢層に幅があるため、本人の学年・状態に応じた支援を行う際、職員の混乱や間違いが生じやすくなっていること。
- ③ 本人の困りごと・ご家族の困りごとについて、適した形の連携や支援が十分に行えていないこと。
- ④ 支援困難ケースの利用者について、他事業所との併用が進まないこと。

11、目標

- ① 職員の適性・年齢に配慮した人員配置を行うことで、支援員の負担の軽減や、支援力のスキルアップを図る。
- ② 職員配置と活動内容については、必要に応じた職員支援を通し、安定した支援の内容と利用者への理解を深めていく。
- ③ 利用者本人の障がいや状態について、保護者との情報共有を深めることで、本人の将来を意識した共通の支援を増やしていきたい。
- ④ 他事業所併用が進まない利用者について、相談支援事業所との連携を図り、保護者・本人ともに新しい体験が進むような地域の連携を図る。

12、総括

令和2年度早々から新型コロナウイルス感染防止対策で、学校が休校になったため、朝から放課後等デイサービスの受け入れが必要となり、一日開所対応を3月～6月まで行った。今回の感染症に起因する恐怖や混乱は、一部の職員にも影響してしまい、感染症対策だけではなく職員のメンタルヘルスケアも同時に必要になる等、担当配置に苦心することが多かった。ご利用者においても生活の変化に影響を受け不調となるケースが見られ、しばしば支援困難な状況が起きていた。誰もが初めて体験する状況下にあったが、歩みを止めずに安定した支援環境を維持できたことは、今後に繋がる良い経験であった。

振り返ると世の中は非日常的な状況となっていたが、一日開所対応により例年よりも利用者と過ごす時間が増えることになった令和2年度だった。長い支援時間を負担と捉えず、利用者と共に楽しむ気持ちの大切さや新しい発見を支援に生かしながら、明るい支援環境を維持することの重要性を実感できたことは、大きな成果だと感じている。

からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…10名

4、事業収入

| | 年間 |
|---------------------------------|--------|
| 開所日数 | 253 |
| 件数 | 2,923 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 45,866 |
| 補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業) | 2,145 |
| 就労支援事業収入(単位:千円) | 11 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者16名(男性10名、女性6名)

(2)年齢構成

18歳～43歳、平均年齢22歳(男性23歳、女性21歳)

(3)手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|
| 療育手帳(神奈川県) | 15 | 1 | 0 | 0 | 16 | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 |
| 身体障害者手帳 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 6 |

(4)男女区分の内訳

| 区分 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 10 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 6 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 16 |

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名、生活支援員2名)

嘱託職員1名

(サービス管理責任者(他兼務))

非常勤職員15名

(看護師1名、生活支援員10名(他兼務含)、ドライバー4名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------|--|---------------------------------------|
| 個別支援検討会議 | 4月20日 5月18日 6月15日 | コロナウイルス感染拡大防止の為中止 |
| | 7月20日 8月17日 9月14日 10月19日 11月16日 12月21日 3月15日 | 支援内容及び連絡事項などの情報共有 ひやりはっと・事故報告の振り返り |
| | 1月18日 2月15日 | コロナウイルス感染拡大防止の為中止 |
| | 3月15日 | 支援内容及び連絡事項などの情報共有 ひやりはっと・事故報告の振り返り |

(2) 外部会議

なし

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|-------------------|-----------|---------------------|
| 障害サービス事業者等実地指導講習会 | 10月5日 | 実地指導に関する説明 |
| 安全運転講習 | 10月13,15日 | 三共自動車学校内にて適性検査と場内運転 |
| 研修名 | 開催日 | 内容 |
| 介護ロボットデモンストレーション | 10月22日 | 「マッスルスーツ」の説明と試着 |
| てんかんについてWeb研修 | 12月13日 | てんかんについて |

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|----------|-------|----------|
| 認定調査立ち合い | 9月8日 | 利用者の認定調査 |
| 個別面談 | 1月16日 | 個別支援について |

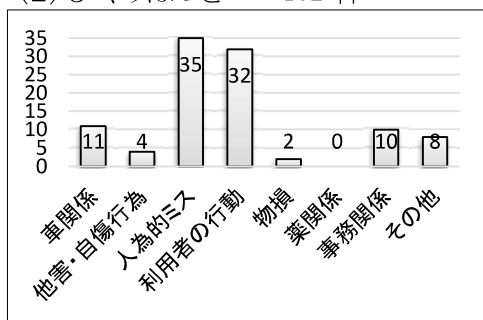
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|----------|---|---|
| おやつ外出 | 4月3,24日 5月1,29日 6月5,26日 7月3,31日 8月7,28日 9月4,18日 10月2,16日 11月6,20日 12月4,18日 1月8,22日 2月5,19日 3月5,19日 | 外出先でおやつを楽しむ(コロナウイルス感染拡大予防の為、買い物をして室内で食べる) |
| 弁当持参日 | 4月29日 5月5,6日 | 祝日開所日の為、弁当持参 |
| 実習生受け入れ | 10月 5,6,12,13日 | 実習 |
| 火災通報避難訓練 | 10月13日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報訓練) |
| 地震避難訓練 | 11月27日 | 地震を想定した避難訓練 |
| 予防接種 | 10月21日 | インフルエンザ予防接種 |

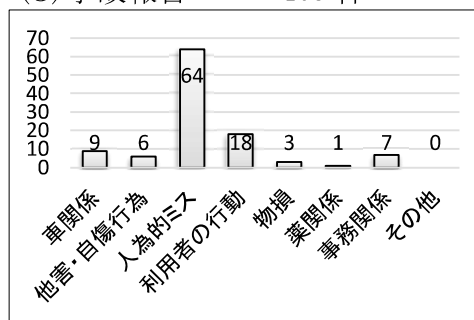
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 102 件



(3) 事故報告 108 件



10、重点課題

- ① 利用者の日々のプログラムの見直し・作業の構築化
- ② 常勤職員の業務が送迎運転・添乗・事務・清掃・現場支援と多岐で長時間勤務になっている。業務内容に適する人材確保(送迎・支援・清掃)が必要である
- ③ 利用者が他のサービスを定期的に利用されることが多くなり、収入減となっているが、現状それを補てんする対策ができていない。
- ④ マンツーマン対応の利用者が多く、職員配置が厳しい中で支援方法の見直しや合理的配慮ができるような工夫が思うようにできていない。

11、目標

- ① 利用者・職員がともに安全に楽しく過ごせるよう環境を整える。
- ② 研修等に積極的に参加するなどして、障がい特性の理解を深め、利用者一人一人に向き合う支援をしていく。
- ③ 関係機関との連携を密に行い情報共有する。

12、総括

- ① 上期に常勤職員が退職したことで、職員体制が厳しい状況になり重点課題に挙げた常勤職員の多岐にわたる業務が益々大きな負担になった。2月中旬から男性職員が育休を取得したこともあり、他部署に協力を仰ぎながら何とか支援体制を維持できた。
- ② コロナウイルスの対応を試行錯誤しながら行った。利用者へのマスク装着には無理な声掛けをせず、個々に声掛けし必要な場所での装着が徐々にでき、手洗い・除菌等も習慣化できた。職員・利用者共々、ご家族等の協力もあり健康管理を徹底することができた。外出も規制が多かったが、極力人が少ない場所を選んで散歩等に出掛け、歩くことで体を動かした。
- ③ 個別支援検討会議が中止になることが多々あり職員間の情報共有については、回覧等で周知しながらその都度補足して伝達した。
- ④ 職員や利用者の年齢が上がることで支援に支障が出てくる場面があり、介護ロボットを導入し介助の補足を行った。今後は介助については研修等に参加し、利用者に合った適切な支援が出来るよう力をつけていきたい。

とむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

1、実施事業

共同生活援助

2、目的

障害者総合支援法に規定される共同生活援助事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等

(1) サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2) 対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3) 定員…6名

4、事業収入

| | 年間 | |
|-------------------|--------|---------------|
| 開所日数 | 362 | |
| 件数 | 1,811 | |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 22,089 | ※家賃補助は含んでいません |

5、利用者構成

(1) 利用者数

定員6名、契約者6名(男性6名、女性0名)

(2) 年齢構成

22歳～43歳、平均年齢30歳(男性30歳、女性-歳)

(3) 手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|--|
| 療育手帳(神奈川県) | 4 | 2 | 0 | 0 | 6 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 | |
| 身体障害者手帳 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | |

(4) 男女区分の内訳

| 区分 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 6 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 6 |

6、職員体制

常勤職員2名

(管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名(他兼務))

嘱託職員1名

(生活支援員・世話人兼務1名(他兼務))

非常勤職員15名

(生活支援員7名(他兼務含)、世話人7名(他兼務含)、生活支援員・世話人兼務1名)

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|-----------|--------|------------------------------------|
| 個別支援検討会議 | 4月28日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| 引き継ぎ打ち合わせ | 4月30日 | 支援内容の確認、情報共有、引き継ぎ |
| 個別支援検討会議 | 5月27日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 6月23日 | 支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り |
| | 7月27日 | |
| | 8月24日 | |
| | 9月24日 | |
| | 10月23日 | |
| | 11月26日 | |
| 12月23日 | | |
| 個別支援検討会議 | 1月26日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 2月24日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| 個別支援検討会議 | 3月26日 | 支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り |

(2) 外部会議

なし

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|------------|-----------|------------------------|
| 安全運転講習 | 10月13,15日 | 三共自動車学校内にて適性検査と場内運転 |
| 強度行動障害基礎研修 | 12月14,15日 | 行動障がいのある人についての基本的な理解～他 |
| | 1月27,28日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|--------|-------|--------------|
| 認定調査面談 | 5月13日 | 障がい程度区分判定の調査 |

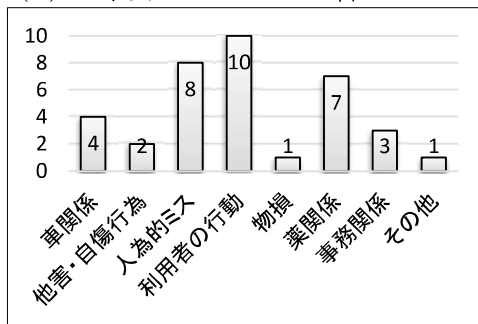
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|-------------|--------|------------------------------|
| 火災通報避難訓練 | 10月14日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報訓練) |
| インフルエンザ予防接種 | 10月21日 | 予防接種 |
| 大掃除 | 11月5日 | 大掃除 |
| 地震避難訓練 | 2月11日 | 地震を想定した避難訓練 |

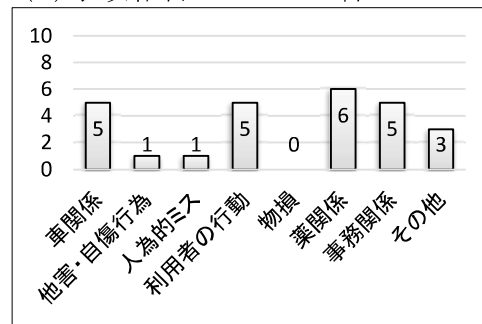
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 36 件



(3) 事故報告 26 件



10、重点課題

- ① 職員が利用者の障がい特性に関する理解を深める。
- ② 職員が利用者一人ひとりの特徴に配慮し、利用者を尊重する支援力を習得する。
- ③ 利用者の暮らしを支えるために効率的で安定したサービス提供体制を確立する。

11、目標

- ① 個別支援計画は、可能な限り利用者本人の意向を反映させ、それに沿った支援を行う。
- ② 職員間の連携と情報共有をはかるために、定期的に会議を実施する。
- ③ 安全を守り、事故防止に努める。

12、総括

とむ郎を開設してから8年余りが経過し、利用者の方は6名になってからは変動はなく、ホーム、家庭、通所先を主な活動の場所として日々の生活を送ってもらっている。コロナウイルスの影響が続き現在も収束をしていないが、通所先には通う事ができている。ヘルパーを利用しての外出にも制限が出ているが、できる範囲でヘルパー事業所の協力も得られている。利用者の個々の状況としては、行動面で落ち着かない方もいたりするが、全体としては他機関の協力も得ながらホームでの対応で生活を継続できている。

職員体制は常駐していた職員が退職したため、役割分担の見直しなども行いながら新しい体制で支援をしてきた1年であった。

職員の高齢化や支援体制の確保、職員の支援スキルの向上など今後取り組むべき課題は多い。

モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:30 土曜日/9:30～16:30

(6)定員…12名

4、事業収入

| | 年間 |
|-------------------|-------|
| 開所日数 | 151 |
| 件数 | 323 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 2,338 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員12名、契約者6名(男性3名、女性3名)

(2)年齢構成

20歳～23歳、平均年齢21歳(男性20歳、女性22歳)

(3)手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|--|
| 療育手帳(神奈川県) | 6 | 0 | 0 | 0 | 6 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 | |
| 身体障害者手帳 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | |

6、職員体制

常勤職員3名

7、会議・研修

(1) 内部会議

なし

(2) 外部会議

なし

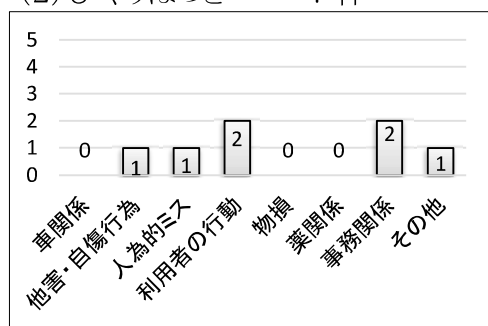
(3) 研修

なし

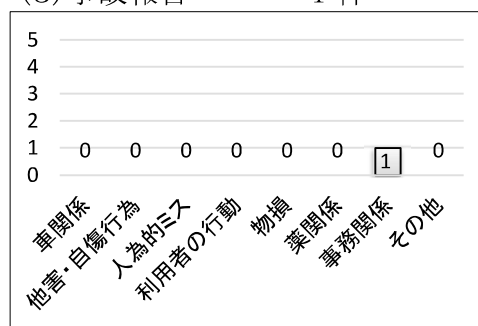
8、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 7 件



(3) 事故報告 1 件



9、重点課題

① 職員の不足

10、目標

① 閉所時間まで勤務可能な職員確保

② 本人がゆっくりと過ごせる環境整備

11、総括

利用のニーズはあるが、職員不足を解消できていないため、利用者がゆっくり過ごせるよう、一人一人に合った支援をマンツーマン対応で提供する環境を整備できていないのが現状。職員不足を常勤職員の残業で補なっていることも積年の課題。また、施設の老朽化も進み、支援に支障が出始めたため、建て直すことを決定、3月に着工した。

ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

居宅介護・重度訪問介護・平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、事業内容

直接支援～身体介護(食事、排泄、移乗、入浴等)、家事援助、移動支援、等

4、事業収入

(1)居宅介護

| | 年間 |
|-------------------|----|
| サービス提供時間数 | 6 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 34 |

(2)重度訪問介護

| | 年間 |
|-------------------|------|
| サービス提供時間数 | 68.5 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 227 |

(3)移動支援

| | 年間 |
|-------------------|-------|
| サービス提供時間数 | 1,370 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 3,265 |

(4)パーソナルサービス(自由契約)

| | 年間 |
|-------------------|----|
| サービス提供時間数 | 0 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 0 |

5、利用者構成

定員:なし/登録者:61名(男性43名、女性18名)

6、職員体制

常勤職員2名

(管理者・サービス提供責任者兼務)

非常勤職員10名(他兼務含)

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------|--------|-------------------|
| 個別支援検討会議 | 4月20日 | コロナウイルス感染拡大防止の為中止 |
| | 5月18日 | |
| | 6月15日 | |
| | 6月3日 | 情報共有、意見交換 |
| | 6月8日 | |
| | 6月10日 | |
| | 6月12日 | |
| | 7月20日 | |
| | 7月28日 | |
| | 7月31日 | |
| | 9月14日 | |
| | 10月19日 | |
| | 11月16日 | |
| | 12月21日 | |
| | 1月18日 | コロナウイルス感染拡大防止の為中止 |
| 2月15日 | | |
| 3月15日 | | |

(2) 外部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|-------|-------|----------------|
| ケース会議 | 9月3日 | 利用者の今後の支援について |
| | 1月21日 | 現状共有、今後の支援について |

(3) 研修

なし

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|-------|-------|------------------------|
| 職員面談 | 6月5日 | 利用者の様子聞き取り、支援について打ち合わせ |
| 利用者面談 | 7月20日 | 支援内容について打合わせ |
| 職員面談 | 9月9日 | 支援内容変更に関わる打合せ |
| | 1月6日 | 支援内容について聞き取り、今後の支援について |

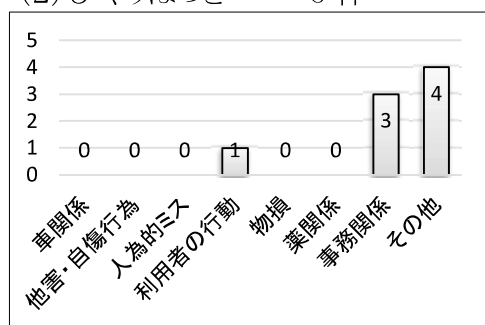
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|------|--------|-------------|
| 予防接種 | 10月21日 | インフルエンザ予防接種 |

9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはつと 8 件



(3) 事故報告 13 件



10、重点課題

- ① 支援内容の情報共有がしきれていない。
- ② 利用者の転倒事故がしばしば起こっている。
- ③ 事務的なミスにより利用者に迷惑をかけるケースがある。

11、目標

- ① 職員間の情報共有について、皆で話し合いながら、より良い方法を探っていく。
- ② 職員によって支援に大きな差が出ないように、支援検討会議や職員研修を通して各々のスキルアップに努める。
- ③ 事務的に余裕のある体制を工夫する。

12、総括

- ① 新型コロナウイルス感染拡大に伴いショートステイ利用が中止されたことで、利用が増え、職員が足りずに利用を断ったケースがあった。
- ② 移動支援の外出先は、昨年度から引き続き範囲を制限させてもらった。利用者によっては、我慢を続けている形である。
- ③ 職員に注意力不足が認められ、事故や忘れ物に繋がっている。個別支援検討会議等を通して支援について話し合うだけでなく、体制を工夫することで、事故を防ぐ環境を整えていく。
- ④ 利用者の気分転換やご家族のレスパイトとして、コロナ禍の状況で一定の役割を果たせたと思う。来年度に向け、安全面を重視しつつ、支援を継続していくこととする。

ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に中・高生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～18:00

(6)定員…10名

4、事業収入

| | 年間 |
|---------------------------------|--------|
| 開所日数 | 288 |
| 件数 | 2,147 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 28,259 |
| 補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業) | 2,123 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者29名(男性18名、女性11名)

(2)年齢構成

| 年齢 学年 | 7歳 小1 | 8歳 小2 | 9歳 小3 | 10歳 小4 | 11歳 小5 | 12歳 小6 | 計 |
|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 年齢 学年 | 13歳 中1 | 14歳 中2 | 15歳 中3 | 16歳 高1 | 17歳 高2 | 18歳 高3 | 計 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| 男性 | 2 | 4 | 6 | 1 | 1 | 4 | 18 |
| 女性 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 11 |
| 計 | 3 | 6 | 7 | 2 | 3 | 8 | 29 |

(3) 手帳の内訳

| | | | | | | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|--|
| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | | |
| 療育手帳(神奈川県) | 13 | 11 | 4 | 1 | 29 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 | |
| 身体障害者手帳 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 | |

6、職員体制

常勤職員4名

(サービス管理責任者1名、児童指導員1名、障害福祉サービス経験者2名)

嘱託職員1名

(児童指導員1名)

非常勤職員11名

(児童指導員5名(他兼務)、指導員4名(他兼務含)、看護師1名、ドライバー1名(他兼務))

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------|--------|---------------------------------------|
| 個別支援検討会議 | 4月14日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 5月12日 | |
| | 6月9日 | |
| | 7月14日 | 新規利用者について ひやりはっと・事故報告について ケース検討 |
| | 9月8日 | |
| | 10月13日 | |
| | 11月10日 | |
| | 12月8日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 1月12日 | |
| | 2月9日 | |
| 3月9日 | | |

(2) 外部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|---------|--------|--------------------|
| 放課後連絡会議 | 4月21日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 6月23日 | |
| | 1月19日 | |
| | 10月22日 | 情報交換 |
| | 2月9日 | |

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|-----------------------------|-------|--------------------|
| 令和2年度神奈川県サビ管・ 児発管責任者更新研修 | 1月26日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 3月23日 | 児童発達支援管理責任者の更新研修 |

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|-------|--------------------------------------|--------------|
| 利用者面談 | 10月6,7,8 12,14 19,21 26,28日 | 個別支援計画モニタリング |
| | 10月23,30 日 | |
| | 11月2,9,18 日 | |
| | 11月 10,11,12,13 ,26,27日 | |
| | 12月7,8日 | |

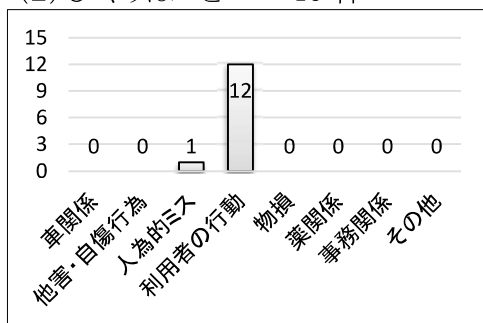
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|------------|---|--------------------------------|
| 誕生日会 | 5月25日 6月 22,24,26日 7月29,31日 8月26日 9月 12,15,25,28 日 10月16日 11月24,27 日 12月24日 1月19,20日 2月24日 | 利用者の誕生日を祝う |
| 七夕 | 7月1～4日 | 七夕(短冊)飾り |
| 火災通報避難訓練 | 10月19日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報) |
| ハロウィンパーティー | 10月29,30 日 | 仮装 音楽 おやつ作り |
| クリスマス会 | 12月24,25 日 | クリスマスプレゼントの配布 ケーキ作り 音楽活動 |
| 初詣 | 1月4,5日 | 日枝神社にて参拝 |
| 節分 | 2月2日 | 豆まき 恵方巻を食べる |
| 避難訓練 | 2月17日 | 地震を想定した避難訓練 |
| 卒業生を送る会 | 3月30,31日 | 高等部卒業の利用者を祝う |

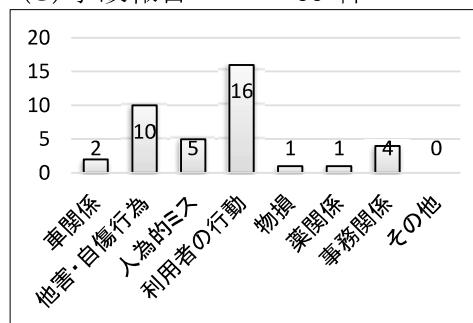
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 13 件



(3) 事故報告 39 件



10、重点課題

- ① 大幅な登録利用者減が見込まれるため、職員の支援の質の向上や環境の改善を行うことで新規利用者の獲得を目指す。
- ② 個別支援計画や面談の内容を全職員が把握し、利用者一人一人に合った支援を行う。
- ③ 日々の活動やイベントなどの内容を見直し、利用者がより楽しめる場所を作る。

11、目標

- ① より良い支援の提供のため、外部研修などに積極的に参加し、職員のスキルアップを図る。
- ② 他の多くのデイサービス事業所との差別化を図ることで、選ばれる事業所を目指す。
- ③ 事務作業の方法や役割分担を見直し、効率化を図る。

12、総括

- ① 登録者の減少や新型コロナウイルスによる利用の自粛などの影響で、利用件数が大幅に減少した。特に年度前半の非常事態宣言中の減少が顕著であった。利用者数は減ったものの数か月にわたり学校が休校になったことで、勤務時間が長くなり職員の負担増にもつながった。職員のスキルアップを図る研修等も開催されず、参加できなかった。
- ② 年度初めの面談も中止となった。そのため個別支援計画は充分には保護者や利用者のニーズを反映したものができなかったが、その中でも職員間では計画の内容や利用者の情報を共有し、個々に合わせた支援を行うことができた。
- ③ 日々の活動についても新型コロナウイルスの影響を受けた。特に公共施設が使用できなくなったことで外出先が制限された。活動をする際に楽しめるかというより、いかに感染せず安全に行えるかということが主眼となってしまった。

えぼっくハウス(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

生活介護

- ・主たる事業所 平塚市南原2-4-5マイズビル1階
- ・従たる事業所 平塚市中原2-6-63
平塚市城所1382

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…平塚市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…28名

4、事業収入

| | 年間 |
|---------------------------------|--------|
| 開所日数 | 253 |
| 件数 | 6,689 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 91,953 |
| 補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業) | 8,692 |
| 就労支援事業収入(単位:千円) | 458 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員28名、契約者36名(男性22名、女性14名)

(2)年齢構成

21歳～36歳、平均年齢27歳(男性26歳、女性27歳)

(3)手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 療育手帳(神奈川県) | 26 | 10 | 0 | 0 | 36 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 1 | 0 | 0 | 1 | | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 | |
| 身体障害者手帳 | 3 | 4 | 1 | 4 | 0 | 0 | 12 | |

(4) 男女区分の内訳

| 区分 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 6 | 7 | 11 | 24 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 3 | 5 | 4 | 12 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 9 | 12 | 15 | 36 |

6、職員体制

常勤職員9名

(管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名、生活支援員6名(他兼務含))

非常勤職員21名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員17名(他兼務含)、ドライバー2名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|-------------|---|------------------------|
| 個別支援検討会議 | 4月22日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| えぼっくハウス常勤会議 | 5月27日 | 支援検討 支援計画作成 情報交換 |
| 個別支援検討会議 | 6月24日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 7月22日 8月26日 9月23日 10月28日 11月25日 12月23日 | 支援検討 支援計画作成 情報交換 |
| | 1月27日 2月24日 | コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 |
| | 3月24日 | 支援検討 支援計画作成 情報交換 |

(2) 外部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|---------------|-------|------------|
| ケース会議 | 7月22日 | 近況報告、今後の対応 |
| 湘南養護学校実習打ち合わせ | 8月27日 | 日程調整 |
| ケース会議 | 9月9日 | 近況報告、今後の対応 |
| | 9月28日 | |
| 新規利用者ケース会議 | 3月23日 | 近況報告、ケース検討 |

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|--------|-------|-----------|
| 安全運転講習 | 6月22日 | 適性検査、実技指導 |

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|-------------|----------------|--------------------|
| 内田クリニック医療面談 | 4月3日 | 新型コロナウイルス感染症対策と現状 |
| | 10月9日 | インフルエンザワクチン接種打ち合わせ |
| 新規利用者面談 | 3月15日 3月17日 | 利用説明、契約説明 |

8、行事

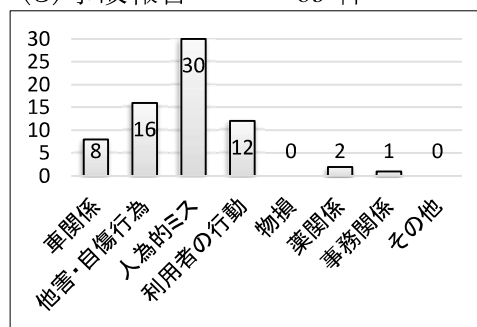
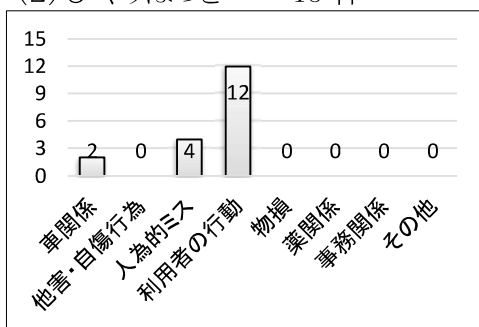
| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|---------------------------------|----------|----------------------------|
| 生活介護事業所 JOYワークス見学 | 5月20日 | 施設見学 |
| 予防接種 | 10月21日 | インフルエンザ予防接種 |
| 火災通報避難訓練 | 10月12日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報) |
| 事業所見学会 | 11月5,12日 | えぼっくハウス概要説明・活動見学 |
| 内田クリニック巡回 インフルエンザ予防接種追 加分 | 11月12日 | インフルエンザ予防接種 |
| クリスマス食事会 | 12月25日 | 食事、ケーキ会食 |
| 節分 | 2月2日 | 豆まき |

9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 18 件

(3) 事故報告 69 件



10、重点課題

- ① 利用件数の確保(他事業所との併用、短期入所利用により利用日数減が懸念される。)
- ② 職員のスキルアップ(研修への参加)
- ③ 活動内容の充実(作業・行事・余暇・リハビリ)
- ④ 個別支援計画・アセスメントシートの充実と情報の共有。

11、目標

- ① 1日利用件数25人。
短期入所先への送迎の実施(迎え含む)
- ② 外部研修(勉強会等)への参加。(常勤一人1研修への参加)
必要研修、重要研修の見極め。
- ③ 新たな活動・行事・作業を取り入れる。
カラオケ、温泉、プール、事業所内映画上映会。ポスティング作業。
- ④ 小会議の定期開催(毎日・週3・週1)にて情報を共有して個別支援計画に生かしていく。

12、総括

- ① 他事業所との併用利用者は10名、定期的に短期入所を利用している利用者は5名の中、1日利用平均件数26名と目標件数に達することができた。(契約数36名)。その要因としては、コロナ禍で短期入所が停止になり、えぼっくハウスを利用したことが目標達成に大きく影響した。
- ② コロナ禍の為、研修の中止が相次ぎ、参加はできていない。
- ③ コロナ禍で緊急事態宣言下においても事業所を開所した。安全を最優先に活動し、感染予防、3密を避けながら、入室時の手指の消毒、定期的な換気、アクリル板の設置、加湿、できる限りのマスクの着用を意識することを重点に置いた為、新たな活動をとり入れるまでには至らなかった。しかし、今後この状況が続くことが考えられ、感染予防、3密を避けての新たな活動、楽しみを見つけていくことが重要と考えている。
- ④ コロナウイルス感染状況により、感染予防の観点から月1回の会議を中止にせざるを得ない月もあったが、活動終了後にはできる限り常勤職員を中心に一日の振り返りを実施した。必要に応じて個別の聞き取りも実施して情報共有を行った。

キャロット工房(平塚市西真土1-7-56)

1、実施事業

就労継続支援B型

2、目的

障害者総合支援法に規定される就労支援B型事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

3、事業内容

生産活動、外出、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

| | 年間 |
|-------------------|--------|
| 開所日数 | 253 |
| 件数 | 4,615 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 32,667 |
| 就労支援事業収入(単位:千円) | 69,161 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者24名(男性17名、女性7名)

(2)年齢構成

18歳～28歳、平均年齢22歳(男性24歳、女性22歳)

(3)手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|
| 療育手帳(神奈川県) | 3 | 15 | 5 | 1 | 24 | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 |
| 身体障害者手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(4)男女区分の内訳

| 区分 | 区分なし | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 計 |
|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 2 | 0 | 0 | 1 | 12 | 2 | 0 | 17 |
| 女性 | 0 | 0 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 7 |
| 計 | 2 | 0 | 1 | 4 | 15 | 2 | 0 | 24 |

6、職員体制

常勤職員7名

(管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名、職業指導員1名、生活支援員5名(他兼務含))

嘱託職員1名

(職業指導員1名)

非常勤職員3名

(生活支援員3名(他兼務))

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------|--------|-------------------|
| 個別支援検討会議 | 4月27日 | コロナウイルス感染拡大防止の為中止 |
| | 5月26日 | |
| | 6月23日 | |
| | 7月28日 | ケース会議 情報共有 |
| | 8月25日 | |
| | 9月29日 | |
| | 10月27日 | |
| | 11月24日 | コロナウイルス感染拡大防止の為中止 |
| | 12月22日 | |
| | 1月22日 | |
| 2月16日 | | |
| 3月23日 | | |

(2) 外部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|-------|-------|----------|
| テレビ会議 | 4月29日 | 基板事業について |
| | 6月12日 | |
| | 7月22日 | |

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|-------------|--------|------------|
| 安全運転管理者講習 | 9月11日 | 車両管理について |
| 安全運転講習 | 10月13日 | 適性検査、実技指導 |
| サービス管理責任者研修 | 12月23日 | 支援計画作成について |

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|-------|--------|-------------------|
| 利用者面談 | 12月24日 | 今後の支援方法及び支援計画について |

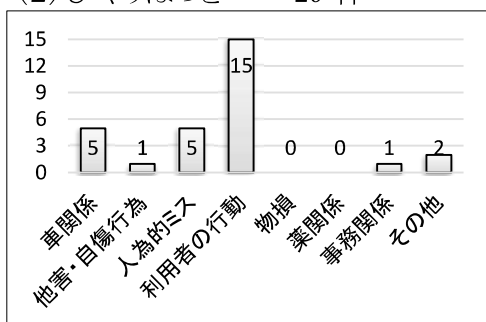
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|----------|-----------|----------------------------|
| 実習 | 9月14～18日 | キャロット実習 |
| 見学者来訪 | 9月24日 | キャロット作業風景見学 |
| 実習 | 10月5～9日 | キャロット実習 |
| 見学者来訪 | 10月8日 | 作業内容見学 |
| 予防接種 | 10月21日 | インフルエンザ予防接種 |
| 火災通報避難訓練 | 10月21日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報) |
| 見学会 | 11月5,12日 | 作業風景の見学 |
| 実習 | 11月24～30日 | 作業体験 |
| クリスマス会 | 12月24日 | プレゼント、ケーキ、料理などクリスマスを楽しむ |
| 地震避難訓練 | 2月17日 | 地震を想定した避難訓練 |

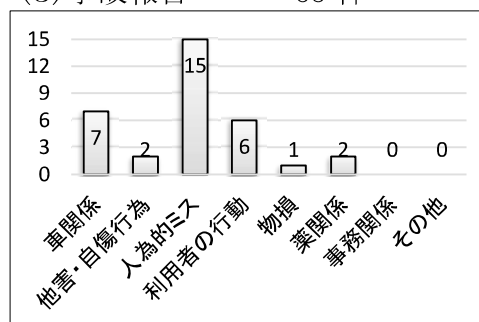
9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはつと 29 件



(3) 事故報告 33 件



10、重点課題

- ① 連絡帳を通じたご家族とのやり取り、健康状態の把握と共有。
- ② 利用者が円滑に人との関わりが持てるような必要に応じたサポート。
- ③ キャロット工房が安心して過ごせる居場所になるような雰囲気づくり。
- ④ 継続的に通所できない利用者へのアプローチの仕方の検討。

11、目標

- ① 利用者が「仕事」として作業を続けていく上で、励みになることは何かを考えながら支援していきたい。
- ② 利用者が将来、公的援助に頼らず自立できるようになることを目指して一般社会でも通用し、工賃がアップするような「仕事」の開拓などに意識して臨みたい。
- ③ 作業を通じて地域の方々との関わりを大切にし、信頼関係を構築する。
- ④ 支援検討会議や研修を通じて職員のスキルアップを目指していく。

12、総括

- ① 上半期に引き続き、えぼっくハウスから定期的な職員の応援と、必要に応じて車両の貸し出しなど協力があつたことで、日々継続的に作業を展開することができた。
- ② コロナ禍による感染症予防をご家族の協力を得ながら徹底して行ってきた。感染症の広がりを警戒して1日事業を休みにした。
- ③ 「ありがとう」のお弁当の配達、青果店「コウタ」への利用者派遣を終了した。その他の作業（パソコン、ことぶき、DVD、ゴルフボール、うーたん保育園への野菜配達）を集中して行うことができた。特に、パソコン解体作業では、継続的な企業先への出荷も年間通じて行うことができた。作業場の整理整頓は今後の課題である。
- ④ 殆どの利用者は年間通じてキャロット工房に通い続けてくれた。その反面、精神的な面で通うことが困難な方には在宅作業の検討を行っている。
- ⑤ 支援検討会議や見えるくんによる情報共有を通じて職員のスキルアップを図り、利用者にとってより良い居場所づくりを継続していく。

えぼハウ(平塚市御殿1-33-21)

1、実施事業

平塚市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…平塚市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:00～17:00

4、事業収入

| | 年間 |
|-------------------|--------|
| 開所日数 | 299 |
| 件数 | 1,562 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 10,613 |

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者23名(男性15名、女性8名)

(2)年齢構成

15歳～31歳、平均年齢24歳(男性24歳、女性26歳)

(3)手帳の内訳

| 等級 | A1 | A2 | B1 | B2 | 計 | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|---|
| 療育手帳(神奈川県) | 12 | 10 | 0 | 1 | 23 | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 計 | | | |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 等級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 計 |
| 身体障害者手帳 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 8 |

6、職員体制

常勤職員2名

非常勤職員11名(他兼務含)

7、会議・研修

(1) 内部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|-------|--------|-------------|
| ケース会議 | 11月20日 | 介助方法変更に伴う確認 |

(2) 外部会議

なし

(3) 研修

なし

(4) 面談

| 面談名 | 開催日 | 内容 |
|------|-------|--------------|
| 職員面談 | 7月15日 | 支援内容について振り返り |

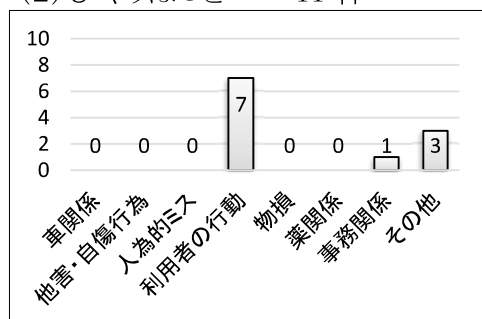
8、行事

| 行事名 | 開催日 | 内容 |
|----------|--------|------------------------------|
| 火災通報避難訓練 | 10月19日 | 火災を想定した通報避難訓練 (消防署への通報訓練) |
| 地震避難訓練 | 2月15日 | 地震を想定した避難訓練 |

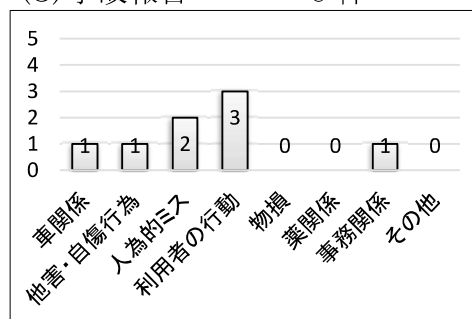
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 11 件



(3) 事故報告 8 件



10、重点課題

- ① 職員の出勤頻度がまちまちで、最新の情報を共有できていない。
- ② 他害事故を防ぐためにも利用者特性の理解が必要だが、職員によって行動予測に差がある。
- ③ 生活介護事業所との情報共有がやや不足している。
- ④ 活動後の清掃は習慣づいたが、全般的な衛生面について、改善の余地がある。

11、目標

- ① 職員間の情報共有について、皆で話し合いながら、より良い方法を探っていく。
- ② 職員によって支援に大きな差が出ないように、支援検討会議や職員研修を通して各々のスキルアップに努める。
- ③ 生活介護事業所との情報共有を強化し、利用者の体調の変化等に対応していく。
- ④ 活動後の清掃だけでなく、教養娯楽品の消毒等、衛生面にも日々気を遣っていく。

12、総括

- ① 延長時間の利用人数が増えており、職員人数が足りない日があった。
- ② 各々の帰り支度が複雑化しており、ご家族のお迎えや移動支援の出発等が一気に重なる時間があることで、慌ただしい支援となる傾向がある。活動内容の充実度よりも、帰り支度を早める事を優先せざるを得ない場合もあるが、来年度に向けては充実した過ごし方も模索していきたい。
- ③ 職員体制の工夫と共に、職員間でフォローし合う事で、安全かつ充実した時間帯となるよう、目指していくべきである。

トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マインズビル1階)

1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用が行えるようにすることを目的とする。

3、事業内容

(1) 計画相談支援

① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

(2) 障害児相談支援

① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、事業収入

(1) 計画相談支援

| | 年間 |
|-------------------|-------|
| サービス利用支援件数 | 70 |
| サービス継続支援件数 | 254 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 4,582 |

(2) 障害児相談支援

| | 年間 |
|-------------------|-------|
| サービス利用支援件数 | 32 |
| サービス継続支援件数 | 65 |
| 障害福祉サービス収入(単位:千円) | 1,589 |

5、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、相談支援専門員2名(他兼務含))

6、会議・研修

(1) 内部会議

なし

(2) 外部会議

| 会議名 | 開催日 | 内容 |
|----------------|-------|--------------------|
| ケース会議 | 5月20日 | 入院中の利用者の退院後の生活について |
| 茅ヶ崎・寒川相談事業所連絡会 | 9月11日 | 地域内の相談事業に関する情報交換等 |
| ケース会議 | 2月19日 | 利用者の方の学校卒業後の進路について |

(3) 研修

| 研修名 | 開催日 | 内容 |
|-------------|----------|---------------------------------|
| 相談支援従事者現任研修 | 11月2～13日 | パソコンを利用したのオンライン研修(相談事業に関する内容など) |
| | 12月11日 | 相談支援に関する実習など |
| | 12月25日 | |
| | 1月15,21日 | コロナウイルス感染拡大防止の為中止(課題提出に変更) |
| | 2月12,18日 | コロナウイルス緊急事態宣言発出により延期⇒課題提出に変更 |

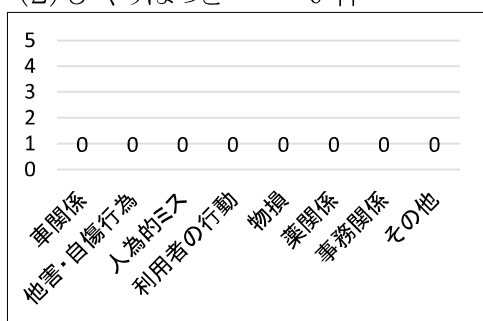
(4) 面談

| 面談名 | 件数 | 内容 |
|-------|------|-----------|
| 利用者面談 | 248件 | 平塚利用者の面談 |
| | 120件 | 茅ヶ崎利用者の面談 |

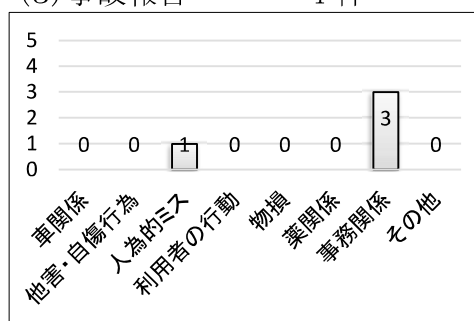
7、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 0 件



(3) 事故報告 4 件



8、重点課題

<茅ヶ崎支部>

- ① 緊急時に対応できる社会資源が近隣市町村と比較しても不足しているため調整が必要な際に対応が難しい。
- ② 相談員の数が足りないため地域として計画相談の件数が増やせない。

＜平塚支部＞

- ① 生活介護や就労B終了後の時間帯に利用できるサービスが不足している。
- ② 児童はモニタリング月が偏っているため、業務が多い月とそうでない月の差が激しい。
- ③ 緊急時に対応できる社会資源が不足しているため対応が必要な時に対応が難しい。

9、目標

＜茅ヶ崎支部＞

- ① サービスの提供が滞りなく行えるように、期限にあわせた計画を策定する。
- ② 在宅生活の継続が図れるように必要なサービス調整等を行っていく。

＜平塚支部＞

- ① 円滑な計画作成を進めるため、ご家庭・学校・事業所・関係機関と連携を図りながら、より利用者にあった計画書の作成をしていく。また、計画作成やモニタリングがスムーズに行なえるよう、各拠点と協力・連携をしていく。
- ② サービスの提供が滞りなく行えるように、期限に合わせた計画を策定する。
- ③ 在宅生活の継続が図れるように必要なサービス調整等を行っていく。

10、総括

＜茅ヶ崎支部＞

新型コロナウイルス感染拡大の影響で面談や訪問に影響が出ていた状況は平塚市と同様であった。相談の内容からは通所先を新たに探す必要が出て調整などを行ったケースがあったり、支援区分の高い方の日中活動以外の社会資源が不足している点が他の地区と同様に顕著である。

学齢期の児童については、各関係機関との密接な情報共有が必要な場合が多く、本人の障がい特性が大きく影響してきている。早急に必要なサービスへ繋げていきたいがコロナウイルスの影響もあり受け入れが難しいケースがあった。

成人期については、高等部卒業後のサービス利用に繋げていくために本人の進路先や日中一時事業者への連絡を密にしながらサービスの移行を行った。

＜平塚支部＞

新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、利用者及び保護者をはじめ関係機関との訪問や面談、会議などに関しては制約が多い1年であった。そのため、電話やメールなどでのやり取りが多く、状況の把握などにも制限がある中でモニタリングや計画書の作成、サービス調整を行う事になった。相談内容の中では通所先や短期入所等のニーズに関するものなどについては調整が難しいケースもあり、時間や労力もかかる場合が多かった。背景としてコロナウイルス感染拡大の影響でサービス利用に制限が出ている点や社会資源がニーズに対して不足している点などがあげられる。

成人の利用者の方に関する部分では、利用者の方の年齢が上がってきているので、それに伴い家族の年齢も上昇する事によって生じる影響も出てきつつある。今後も家族の加齢に伴うリスクは増えてくると予想されるが、グループホームなどは増加しているものの、ショートステイなどの夜間に対応できる支援に関しては十分な状況にはない。特に支援度の高い方（障害支援区分の高い方など）が利用できる社会資源に関しては厳しい状況が続いている。

緊急事態宣言の影響や高校生になってご本人の状況に変化があり、ファミリーケースや不登校になる傾向があった。特に緊急事態宣言下において、通常利用しているサービスが利用できなくなったものもあり、関係機関との連携やインフォーマルな支援の必要性が顕著に見られた。

高齢者を専門としている事業所が障害者支援も行なっている所が複数あり、実際に移動支援の契約に結び付いたケースがある。不足している社会資源を少しでも補えるよう、様々な可能性に目を向けていく必要がある。

特定非営利活動法人トムトム

| | |
|----|------|
| 総会 | 監事2名 |
| 理事 | 理事長 |

| | |
|------|------|
| 総務部長 | 事業部長 |
|------|------|

| | |
|-------|------|
| 茅ヶ崎支部 | 平塚支部 |
|-------|------|

| 事業所名 | サービス名 | 分室 | 職員配置 |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| 本部 | 総務部 経理・労務・庶務 | | 常勤 非常勤 |
| 茅ヶ崎支部 | とむ部 共同生活援助 | | 常勤 嘱託 非常勤 |
| | ゴロゴロクラブ 茅ヶ崎市日中一時支援 | | 嘱託 非常勤 |
| | からんころん 生活介護 | | 常勤 非常勤 |
| | あいあいクラブ 放課後等デイサービス | | 常勤 嘱託 非常勤 |
| | モンキーポッド 茅ヶ崎市日中一時支援 | | 常勤 非常勤 |
| 平塚支部 | トムトム相談室 計画相談支援 障害児相談支援 | | 常勤 |
| | キャロット工房 就労継続支援B型 | | 常勤 嘱託 非常勤 |
| | えぼつくハウス 生活介護 | 黄色い家(中原) アノ又(城所) いずみビル(寒川町) | 常勤 嘱託 非常勤 |
| | えぼハウ 平塚市日中一時支援 | 阿部公一ビル(御殿) | 常勤 非常勤 |
| | ぶんぶん 居宅介護 重度訪問介護 平塚市移動支援 | | 常勤 非常勤 |
| | ゆうゆうクラブ 放課後等デイサービス | | 常勤 嘱託 非常勤 |

| |
|---|
| 令和3年3月末現在 |
| 職員 常勤 28名 嘱託 6名 非常勤 77名 アルバイト 2名 合計 113名 |